



ママ、何それ？

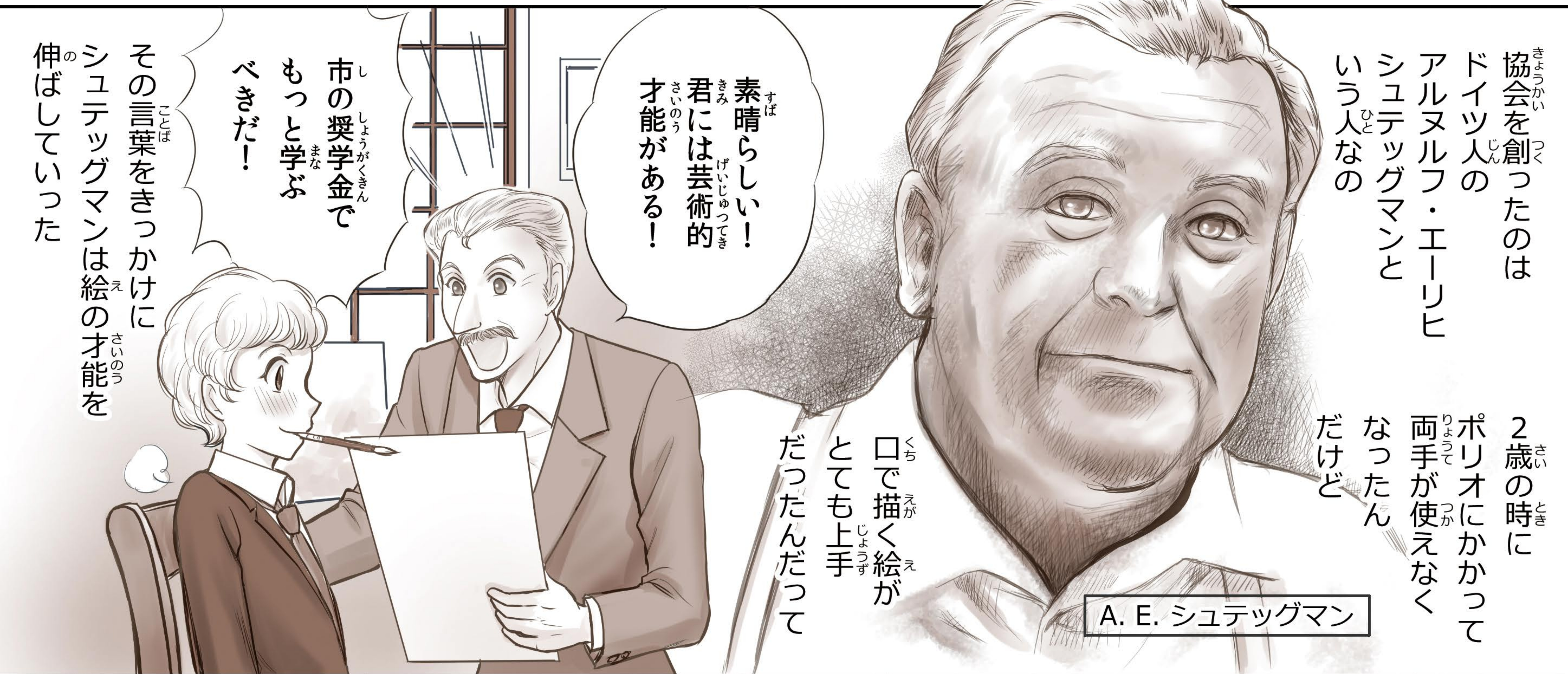
見てごらん
この絵は全部
障がいを持った
人たちが手を使わ
ないで、口や足で
描いてるのよ

えっ！
手を使って
ないの？

そう、ママの使ってる
エコバッグもお家の
カレンダーの絵も全部
そうなの
よ！

へえー
すごいね！

口と足で描く芸術家協会の 設立と目的



協会を創ったのは
ドイツ人の
アルヌルフ・エーリヒ
シュテッグマンと
いう人なの

2歳の時に
ポリオにかかって
両手が使えなく
なったん
だけど

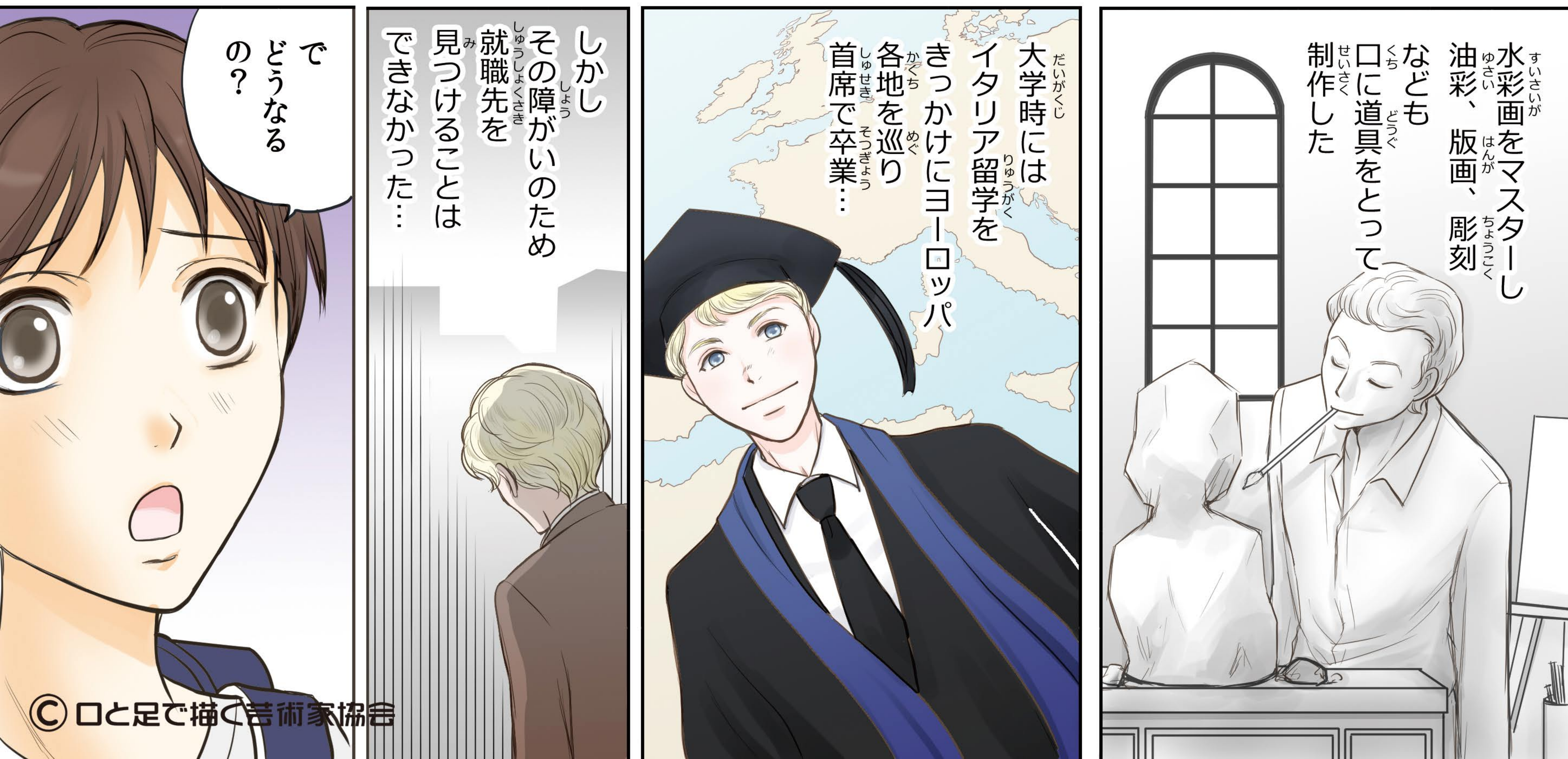
A. E. シュテッグマン

口で描く絵が
とても上手
だったんだって

素晴らしい！
君には芸術的
才能がある！

市の奨学金で
もっと学ぶ
べきだ！

その言葉をきっかけに
シュテッグマンは絵の才能を
伸ばしていった

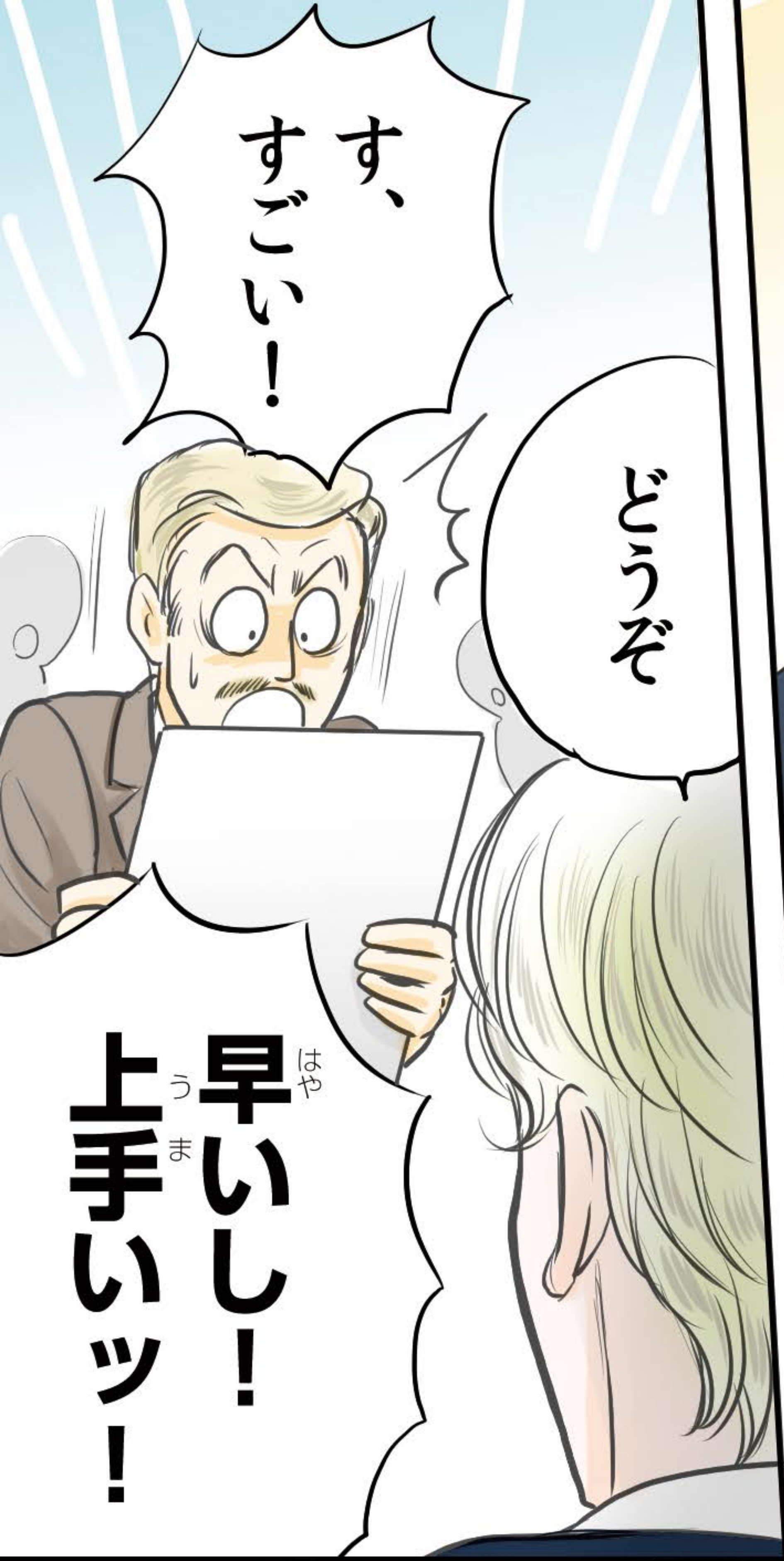


水彩画をマスターし
油彩、版画、彫刻
なども
口に道具をとって
制作した

大学時には
イタリア留学を
きっかけにヨーロッパ
各地を巡り
首席で卒業…

しかし
その障がいのため
就職先を
みつけることは
できなかった…

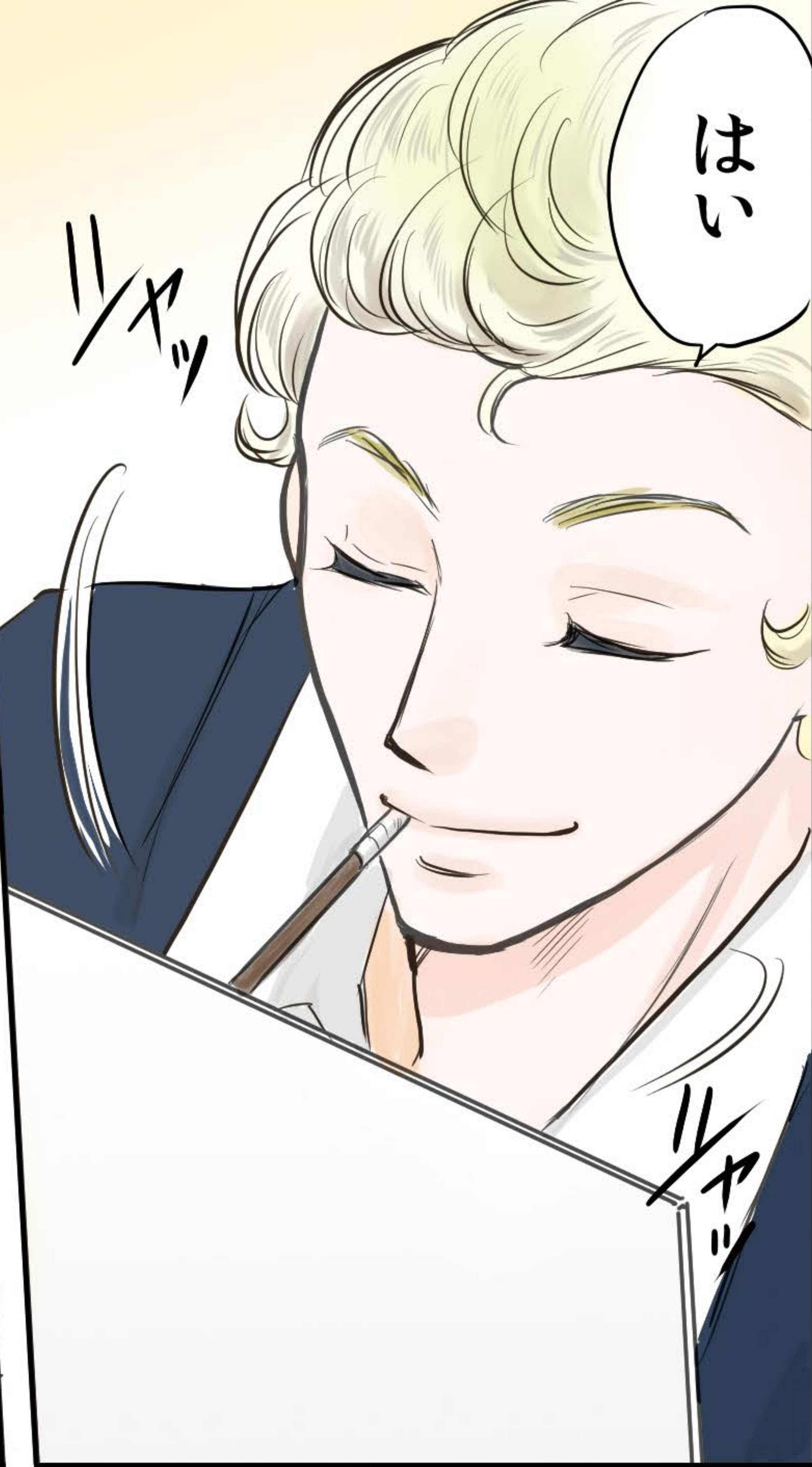
で
どうなる
の？



す、す、
すごい！

どうぞ

早い！
上手いッ！



はい

リヤッ

リヤッ



じゃ一つ
お願い
するよ



似顔絵は
いかが
ですか？



一九三三年に
出版社を
起こした

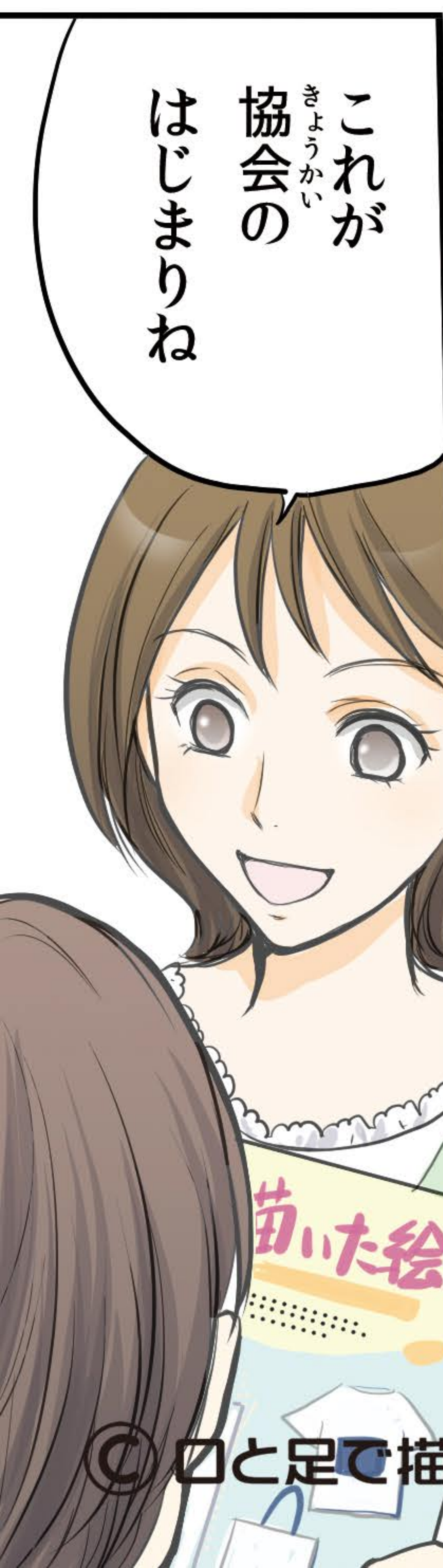


—その後—
ドイツ中の会社、
学校を訪ね、絵を
売り歩き



君、今度
うちの会社でも
描いてくれないか？

初めての
社会参加は
道端で似顔絵を
描き、お金を
稼ぐことだった



これが
協会の
はじまりね



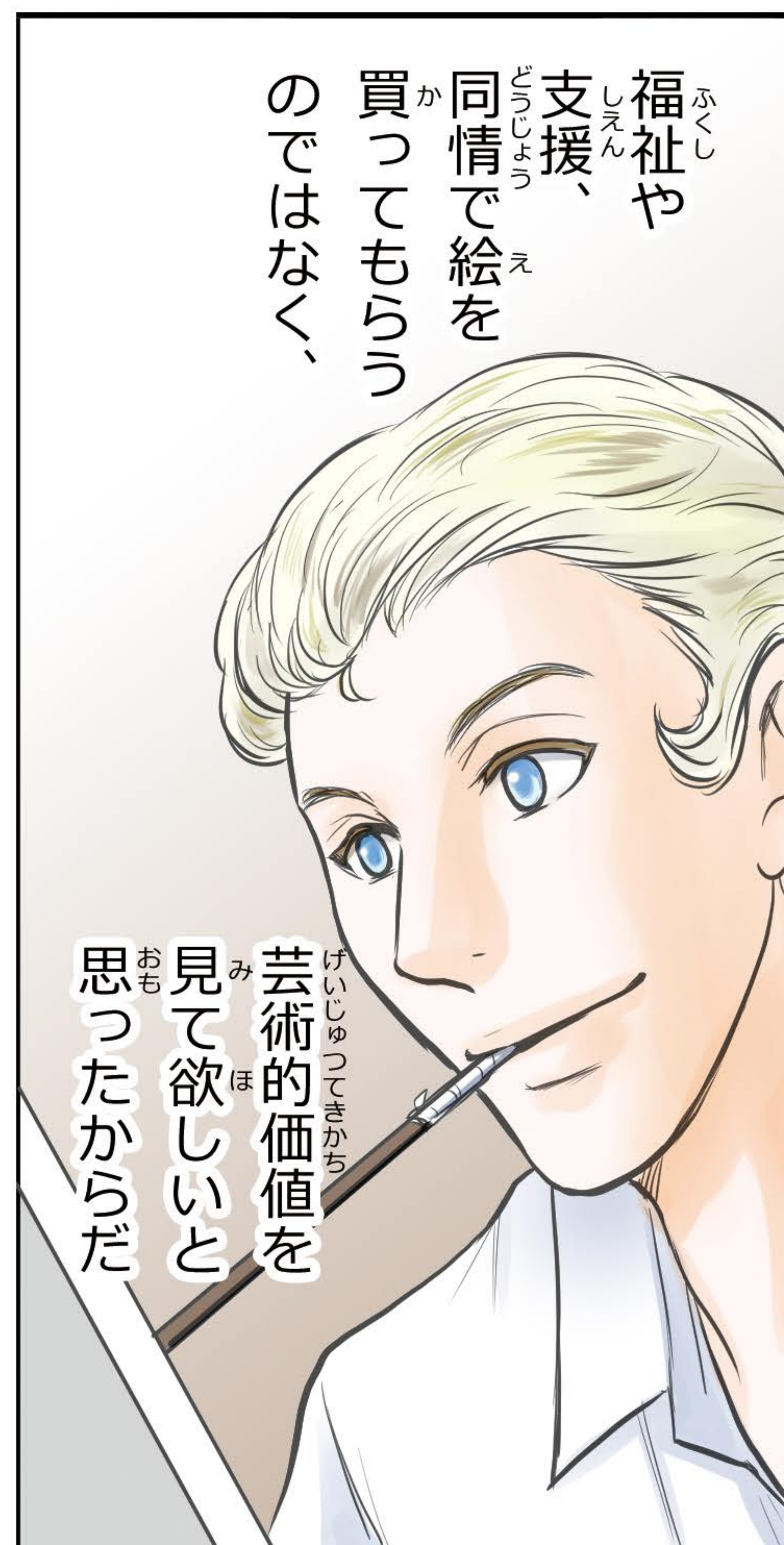
一九五六年に
「口と足で描く
芸術家協会」
を設立した

支えあって
生きるための
組織が
必要だと



そして
自分自身の
ためだけでなく

同じ境遇にある
仲間達と共に

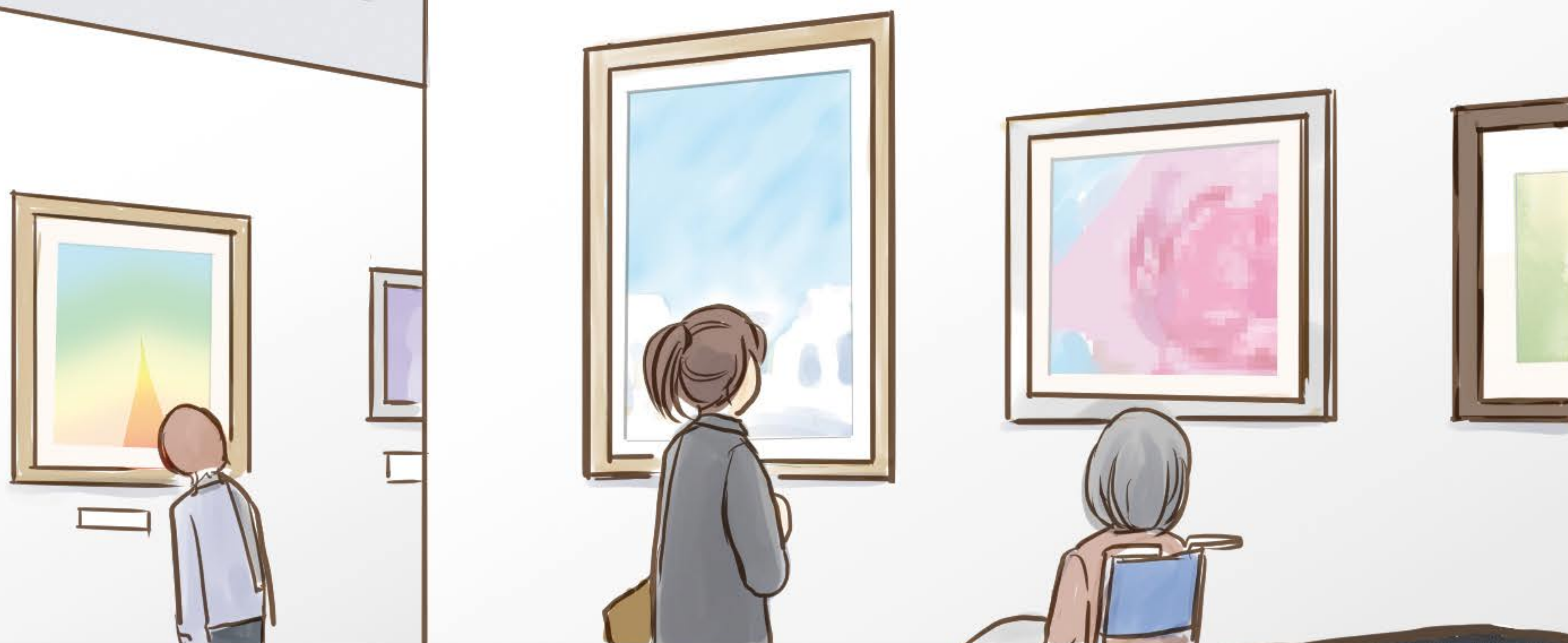


福祉や
支援、
同情で絵を
買ってもらう
のではなく、

芸術的価値を
見て欲しいと
思ったからだ

設立と同時に
行われた絵画展は
大きな注目を浴び、
その活動はすぐに
世界へと広がって
いった

そして一九六一年
「口と足で描いた
世界の美術展」が
東京で開かれ、
日本での活動も
始まった

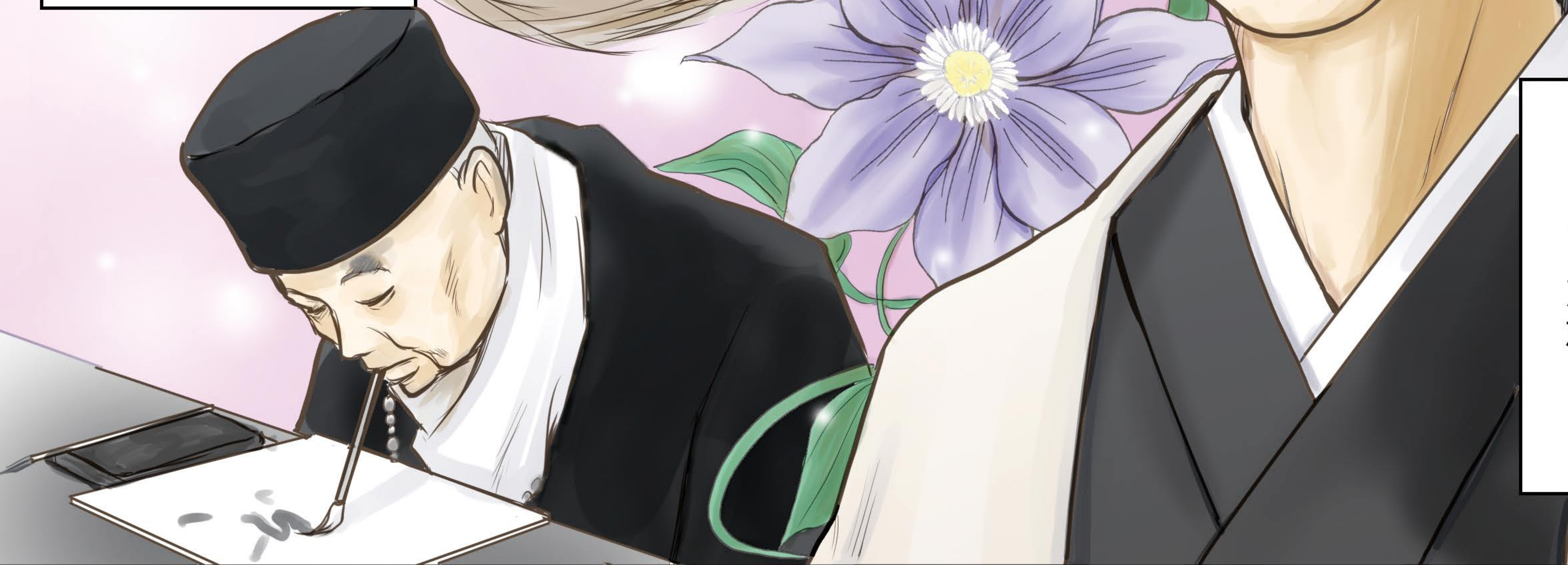


日本での会員
第一号は、後に
「障がい者の母」
と呼ばれた
大石順教尼

カナリアが
くちばしで雛を
育てる姿に教えられて
口に筆をとった
日本画家である



不幸な事件で、
十七歳にして
両腕を失って
しまったが

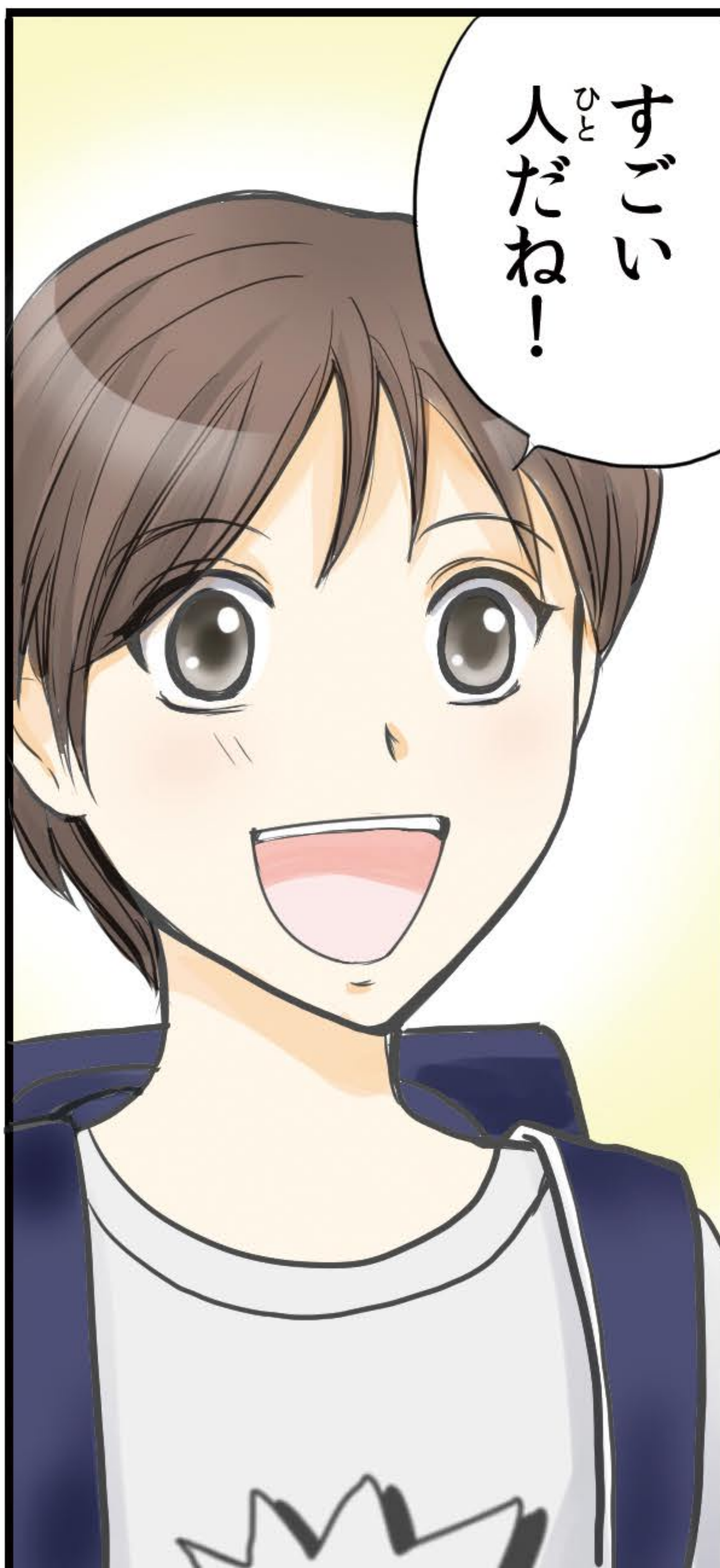


口や足で
絵を描き
続けている

その後世界中で
活動は広まっていき、
二〇一六年現在、
世界78の国と地域の
障がい者800名以上が参加し

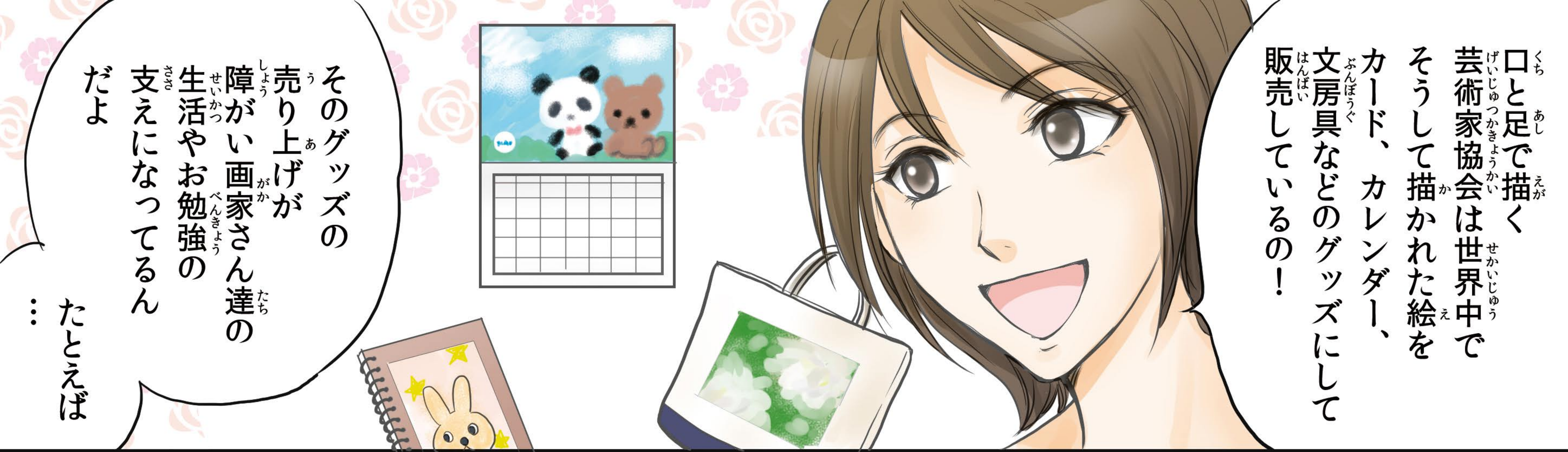


すごい
人だね！



67歳の時
口筆写経が
日展に入選
77歳の時に
障がい者
いいこの家を
建立
自ら両手が無い身で
ありながら、障がい者の
社会復帰に半生を捧げた





口と足で描く
芸術家協会は世界中で
そうして描かれた絵を
カード、カレンダー、
文房具などのグッズにして
販売しているの！

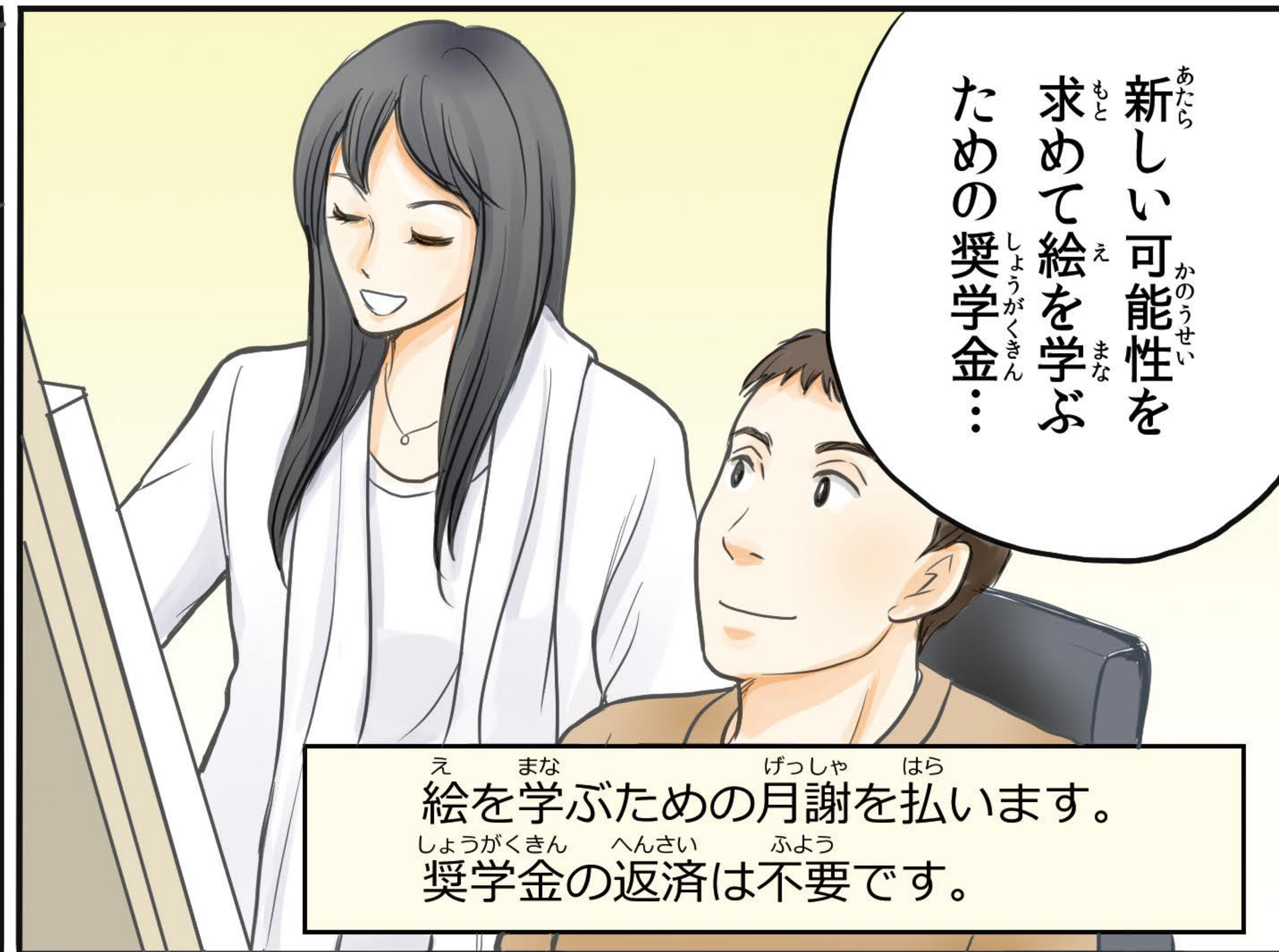
そのグッズの
売り上げが
障がい画家さん達の
生活やお勉強の
支えになってるん
だよ

たとえば



多くの人たちに
作品を見てもらう
ために展覧会を
開催したり…

東京国際フォーラムなどで開催しました。
障がい者の社会復帰への関心を促します。



新しい可能性を
求めて絵を学ぶ
ための奨学金…

絵を学ぶための月謝を払います。
奨学金の返済は不要です。



自身の働きにより、
一定の収入を得て
経済的に安定し

画家という
生涯をかけての
仕事をする事で
生きがいのある
人生を築ける
ようになるの



口や足で描くための
特別な設備や
道具を揃えたり…

筆や絵の具の他にも、車イスやベッドの上で
描くために用いる特別なイーゼルが
必要なこともあります。



みんなが
気に入ったものを
買ってくれたら
たくさんさんの絵を描く
応援になるのよ

いっぱい
おうえん
したいね！